

GS-370 ヤエンストーブ レギ

この度はスノーピーク製品をお買い上げ頂き、誠に有難うございます。永く安全にご使用いただくためにも本取扱い説明書を必ずお読みください。また、読み終わったらあとも大切に保管してください。説明書内に疑問や理解出来ない内容があった場合は、使用前に必ず弊社までお問い合わせください。スノーピークの燃焼器具は全数燃焼テストを実施して出荷しております。燃焼テストによりゴトクやバーナーヘッドなどが若干変色していますがご了承ください。

この製品はアウトドア用に開発された屋外専用の直立型こんろです。室内、車内、テント等では使用しないでください。一酸化炭素中毒死や酸欠により窒息死の恐れがあります。屋外であっても狭い空間では換気にご注意ください。使用中または使用直後は器具が熱くなっていますので火傷には十分注意してください。また、お子様が手を触れないようにご注意ください。

本取扱説明書における警告と注意について

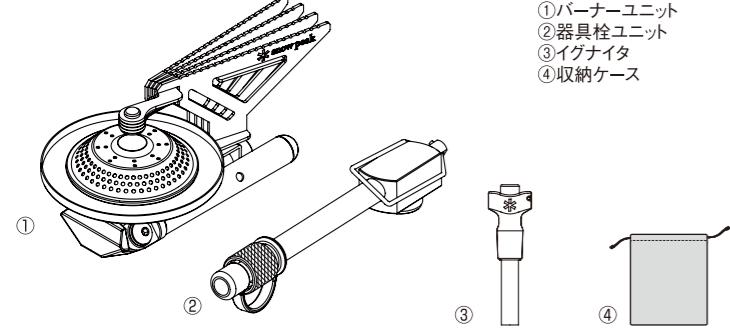
△警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性があることを示します。

△注意 取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険、及び物的損害の発生が想定されることを示します。

△警告 実際の山行やキャンプでは器具を過信せず、万が一に備え、予備の器具を用意してください。

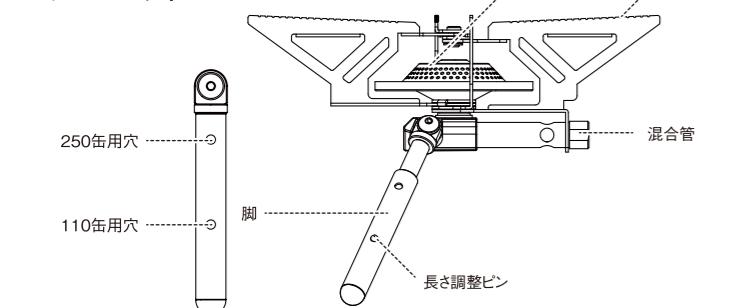
△注意 付属のイグナイタ(着火装置)は高所や低温時に着火しにくいことがあります。山行やキャンプの際は念のためマッチやライター(電子式でないもの)を携行してください。

セット内容

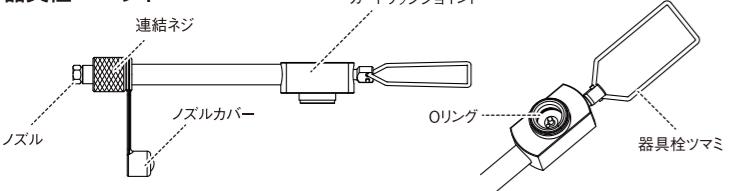


各部の名称

バーナーユニット



器具栓ユニット



スペック

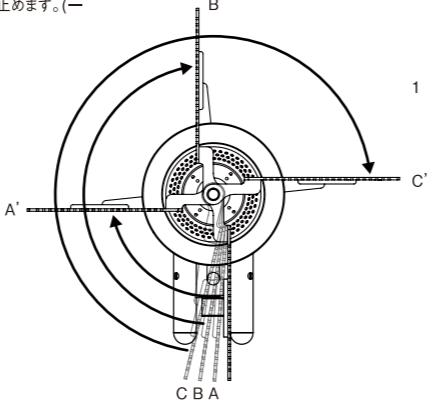
外形寸法	250缶使用時:190×310×147(h)mm 収納時:バーナーユニット/70×126×59(h)mm、器具栓ユニット/21×136×25(h)mm
重量	220g、イグナイタ/16g
ガス消費量	235g/h
出力	2900kcal/h
使用鍋径	φ23cm以下/ダッチオーブン不可
容量	4ℓ以下

●ガス消費量および出力は当社試験室にて測定、算出したものです。

●ガスカートリッジは上の表の、SNOWPEAK指定専用ガスカートリッジのみをお使いください。

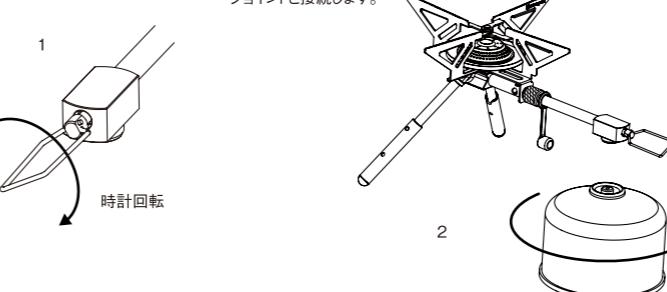
組み立てと使用方法

1. 上面から見て3枚のゴトクを時計回りに回転させ定位置で止めます。(一枚は固定です。)

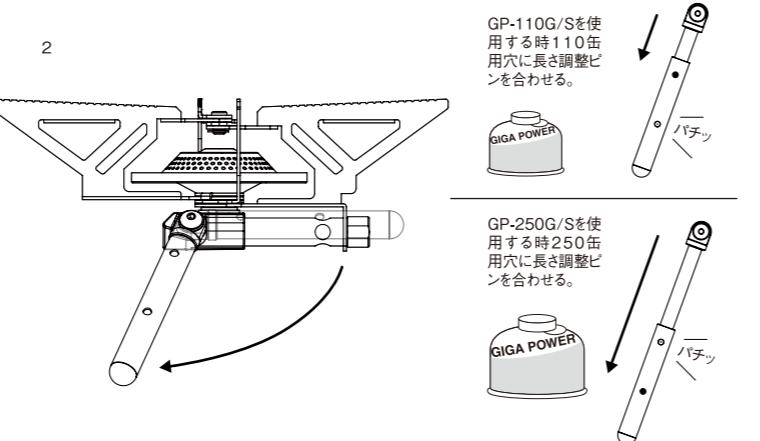


1. 器具栓ツマミが閉じていることを確認してください。

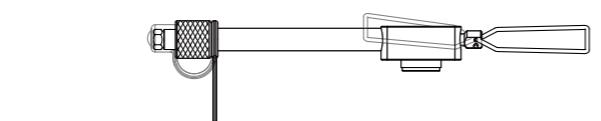
2. ガスカートリッジの接続部を上にして、カートリッジジョイントと接続します。



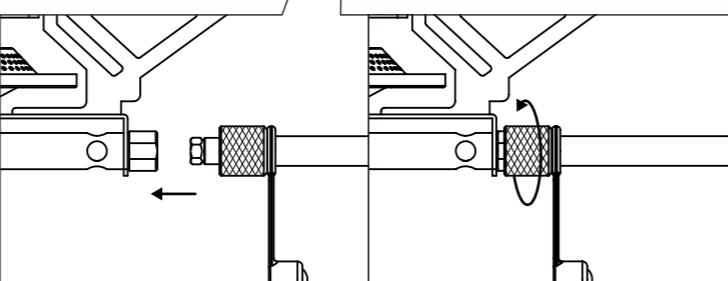
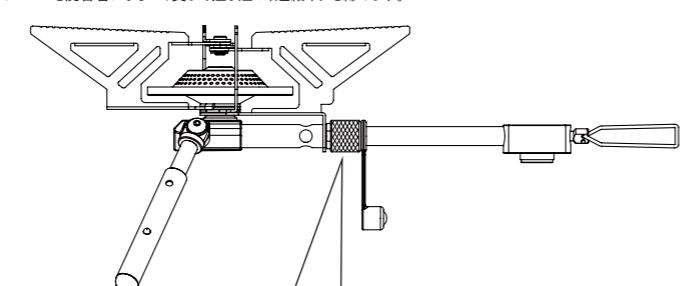
2. 2ヵ所の脚を起こして組み立てます。脚にある長さ調整ピンを押し、使用するガスカートリッジに応じた長さに調整します。



3. 器具栓ツマミを引き起こし、ノズルカバーを外します。



4. ノズルを混合管にしっかりと奥まで差し込み、連結ねじを締めます。



△警告 不意に連結部が外れると、大きな炎が発生し火傷や火災につながる可能性があります。連結ねじはしっかりと締めてください。また、連結部に砂などが詰まらないよう注意してください。

△警告 ノズルに砂や塵が詰まると、正常に燃焼しなくなります。組み立て・分解の際は特に注意をし、収納時は必ずノズルカバーを取り付けてください。

△注意 ノズルの詰まりによる火災の危険性を防ぐため、ノズルカバーを付けてください。

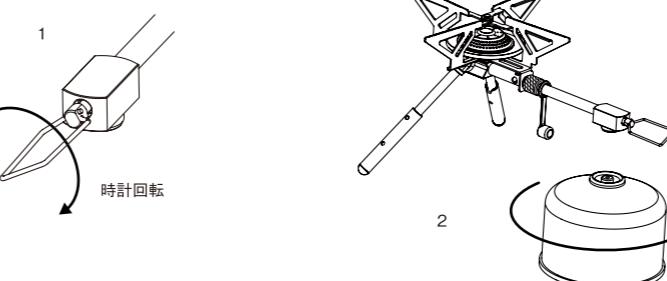
ガスカートリッジの取り付け方法

△警告 snowpeak指定専用容器(GP-250G, GP-250S, GP-110G, GP-110S)を使用してください。指定容器以外は使用しないでください。指定外のガスカートリッジの使用は、製品保護と修理を受けられませんので、ご注意ください。

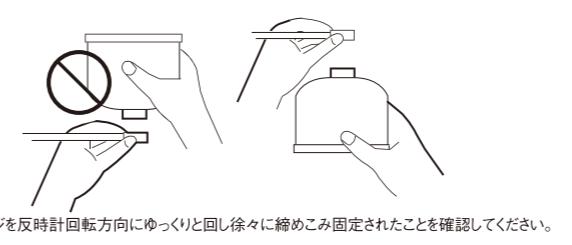


1. 器具栓ツマミが閉じていることを確認してください。

2. ガスカートリッジの接続部を上にして、カートリッジジョイントと接続します。



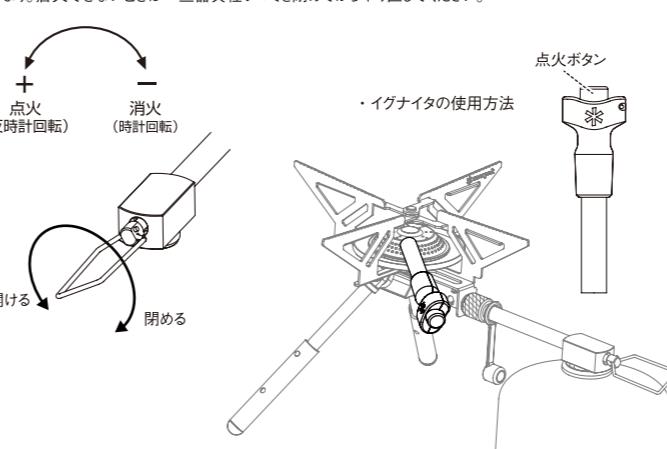
△注意 ガスカートリッジは正立(接続部が上)の状態で取り付けてください。



△警告 ガスカートリッジの取り付け、取り外しの際は、少量のガスが漏れます。火気のあるところや、換気の悪いところでの着脱は引火の恐れがあり危険ですので、絶対に行なわないでください。

操作のしかた

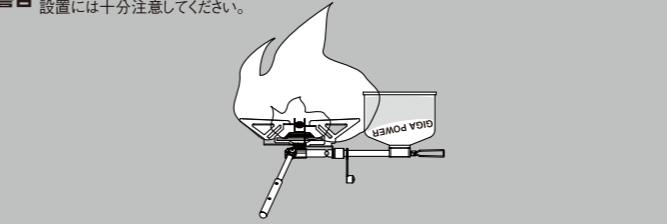
1. 点火方法
ライターやマッチを使い予め火をつけてから、器具栓ツマミを正面から見て反時計回転方向(左回転)にゆっくりと回してください。イグナイタを使用する場合は器具栓ツマミを回した後、先端をバーナーヘッドに当て、点火ボタンを押します。着火できないときは一旦器具栓ツマミを閉めてからやり直してください。



△警告 点火の際は、バーナーヘッドの上部に手や体を近づけたり、バーナーヘッドを覗き込まないでください。大きな炎が上がり火傷の危険があります。

△警告 着火する際は、周囲に燃えやすいものがないことを確認してください。

△警告 ガスカートリッジが下図の様に裏返ると、異常に大きな炎が発生し、火傷や火災の原因になります。設置には十分注意してください。



△注意 ガスを出して2秒以上点火できない場合はイグナイタの使用をやめてガス臭がなくなるまで換気を行ってください。点火がうまく行かない場合は先端の長いライターを使うことをお勧めします。

△注意 イグナイタは天候や標高によっては点火できなくなる場合があります。必ず予備にマッチやライターをご用意ください。

2. 火力調節
器具栓ツマミは反時計回転方向(左回転)に回すと火力が大きくなり、時計回転方向(右回転)に回すと小さくなります。器具栓ツマミはゆっくりと回してください。

3. 消火方法
器具栓ツマミを時計回転方向(右回転)にゆっくりと回すと火が消えるまで回します。完全に火が消えたことを確認してください。ガスカートリッジを交換する際は、消火後十分に器具を冷ましてください。

※器具栓ツマミの全閉位置は個体差があり、ツマミの収納位置と一致しませんので、ご了承ください。

ガスカートリッジの取り外し方

1. 使用直後は器具が高温になっています。十分に冷めてからガスカートリッジを取り外してください。
2. ガスカートリッジを底から見て反時計回転方向に回しガスカートリッジを外します。外したガスカートリッジには必ずキャップを取り付けて保管してください。

収納のしかた

1. 連結ねじを緩め、バーナーユニットと器具栓ユニットを分離させます。
2. 脚を組み立てと逆手順で収納します。次に、ゴトクを反時計方向に回し、1ヵ所に縛めます。
3. 器具栓ツマミを折り畳み、ノズルカバーを装着します。
4. 収納ケースにいれます。

使用上の注意

ガス漏れのあるもの、衝撃を受けたもの、正しく作動しなくなったものは使用しないでください。
1. 調理の目的以外に使用しないでください。
2. 使用する前にカートリッジジョイントにゴミやホコリが付着していないことを確認してください。カートリッジジョイントは常にきれいにして、不用意に地面に置くなどしないでください。ゴミやホコリが付着すると出力を低下させたり、ガスが出ないなど故障の原因になります。
3. 使用になれる鍋は直径23cm以下容量4ℓ以下を自安にお選びください。大きすぎる鍋は輻射熱によるガスカートリッジの加熱や重量バランスが不安定になり転倒するなど危険です。
4. 調理中は、鍋の輻射熱で床面が熱になります。バーナーヘッドなど熱を反射するものを敷いてご使用ください。
5. 気温やガスカートリッジの温度によりガス圧が変化し燃焼状態(炎の具合やパワーなど)が変化します。
6. 強い風や煮こぼれ等で火が消えることがあります。使用中は目を離さないでください。
7. 异常燃焼が起こったときは速やかに消火し使用を中止してください。
8. 炎があたる部分や炎に近い部分は金属が焼けて変色します。
9. ガス臭がしたら決して着火しないでください。全ての火や炎を消火してください。ガスカートリッジを取外してください。

点検・手入れのしかた

1. 定期的に点検、手入れを行ってください。
2. ご使用による前、器具が正常に動作することを確認してください。
3. 煮こぼれたときは、必ず布などでバーナーの掃除を行ってください。
4. 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。
5. お客様による修理は危険です。万一具合が悪くなったら販売店または弊社にご相談ください。

トラブルシューティング

故障・異常の見分け方と処置の仕方

症状	チェックポイント	処置
ガスが漏れる	・ガスカートリッジはしっかりとねじ込まれているか。 ・ガスカートリッジは斜めに取付ていないか。 ・カートリッジジョイントのOリングは痛んでいないか。 ・ガスカートリッジ部以外からガスが漏れていないか。	・ガスカートリッジを取扱説明書通りに取り付ける。 ・直ちに使用を中止する。
点火しない	・バーナーヘッド部が目詰まりしていないか。	・バーナーヘッドを清掃し、目詰まりを除去する。
火力が弱い	・ガスカートリッジの残量が少ない	・新しいガスカートリッジと交換する。
炎が不揃い	・バーナーヘッド部が目詰まりしていないか。	・バーナーヘッドを清掃し、目詰まりを除去する。
使用中に消える	・ガスカートリッジの残量が少ない。 ・バーナーヘッド部が目詰まりしていないか。	・新しいガスカートリッジと交換する。 ・バーナーヘッドを清掃し、目詰まりを除去する。
消火しない	・火力調節ツマミが開いていないか。	・火力調節ツマミを最後まで閉める。
赤火が発生する	・吹きこぼしたものが付着していないか。 ・ゴトクの場所だけ発生している。	・バーナーヘッドを清掃し、付着物を除去する。 ・ゴトクの素材による炎色反応であるため異常ではありません。
ゴトク、バーナーヘッド、トッププレートに焼け色が発生		・燃焼により金属が変色したためあり、異常ではありません。
断続的な燃焼音がする		・製品の構造的特性によるものであります。

それでも解決しない時は…
直ちに使用を中止して購入いただいた販売店または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

●上記の内容をご確認頂き、なお異常のあるときやお分かりにならない場合は、お求めの販売店または弊社にご相談ください。

●消火しない場合は周囲の安全を確認し、ガスがなくなるまで燃焼させてください。

品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期してますが万一本体が故障した場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適正な価格で修理させていただきます。修理・交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は保証、修理できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

1. 材料の経年劣化による損害などの製品の寿命
2. 改造及び乱暴な扱いによる故障
3. 取扱説明書で禁止されている取扱いによる故障
4. 不慮の事故による製品の故障
5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障
6. ゴミやさびによる故障
7. 分解したことによる故障
8. 落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合
9. 摩耗によるバーナーの変形およびそれによる故障
10. 他社製品との組み合わせによる故障

修理について

●本格的な修理が必要な場合は、お買い求めいただいた販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。
●修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚水をきれいに落としてください。
●修理品には修理箇所がはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また、破損時の状況をできるだけ詳しく書いてメモを添えてください。

●修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
1. 保証対象の場合: 往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
2. 保証対象以外の場合: 往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

不明な点やお気付きの点がございましたら、

販売店様または弊社ユーザーサービスまで

お問い合わせください。

スノーピークユーザーサービス

OO 0120-010-660

(9:00~17:00)

Email:userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク

〒955-0147 新潟県三条市中野原456

Tel.0256-46-5858 Fax.0256-46-5860

スノーピークガス器具・容器をご使用になるための
重要注意事項が説明されています。よくお読みください。
そして大切に保管してください。

ご使用の前に

よく読んで予測される事故を回避し安全にご使用ください。

本取扱説明書における警告と注意について



明らかに生命に関わる重大な事故が
予測される行為を示します。



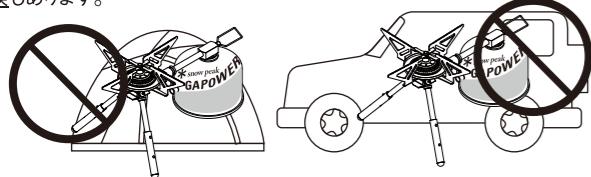
取扱いを誤った場合、使用者が死亡
または重症を負う可能性があることを示します。



取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険、
及び物的損害の発生が想定されることを示します。

危険

●テントの中や車中、屋内では絶対に使用しないでください。
本製品は屋外専用です。屋内やテントの中、車内などでは絶対に使用しないでください。酸欠や有毒ガスにより死亡あるいは、重篤な中毒になる恐れがあります。
本製品は屋外専用に設計されています。使用中は酸素を大量に消費します。限られた空間での使用は酸欠、一酸化炭素中毒になることがありますまた火災の危険もあります。



●本製品にはsnowpeak指定専用ガスカートリッジをご使用ください。snowpeak製のガスカートリッジは本製品の性能が最大限に発揮できるように作られています。それ以外のガスカートリッジは使用しないでください。またsnowpeak製のガスカートリッジであっても使用できるガスカートリッジが定められています。【指定専用ガスカートリッジ】は次の項目をご覧ください。

【理由】指定以外のガスカートリッジはバルブ形状、ノズルの太さなど規格が異なります。この基本設計の違いでガス漏れが発生し、引火や火災あるいは異常燃焼を起こすことがあります。

指定専用ガスカートリッジ
●GP-250G/GP-110G (白地・金帯)
●GP-250S/GP-110S (白地・銀帯)

指定外のガスカートリッジの使用は、製品保証と修理を受けられませんので、ご注意ください。

●お客様による修理や改造は絶対にしないでください。

【理由】本製品やガスカートリッジは精密に作られています。改造は性能低下になるばかりか不完全燃焼やガス漏れの原因になることがあります。修理に関しては、お買い求めの販売店または弊社ユーザーサービス係へお問い合わせください。

●調理用こんろに点火する前にはガスが漏れていないことを必ず確認してください。

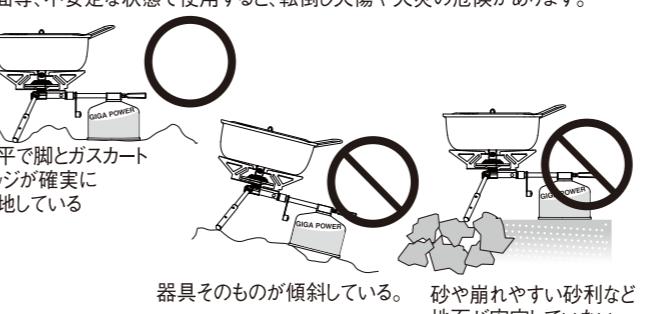
【理由】器具栓ツマミが確実に閉じているか確認してからガス缶を取り付けてください。また、ガス缶取付け後に各接続部よりガス漏れないことを確認してから点火してください。ガス漏れをしている状態で点火すると、異常燃焼による火傷、あるいは中毒症状になったりすることがあります。少しでも異常を感じた場合は、直ちにご使用を中止し、お買い求めの販売店または弊社ユーザーサービス係までご相談ください。ガスが漏れている状態では絶対に点火しないでください。

●ガスカートリッジのガスを故意に吸い込まないでください。
【理由】故意にガスを吸い込むと酸欠のため窒息死します。絶対にしないでください。

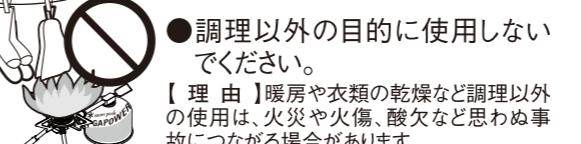


●ガスカートリッジの再充填は絶対にしないでください。
【理由】専用ガスカートリッジは繰り返し充填するように設計されていません。絶対にしないでください。

●水平で安定した状態を確認した上でご使用ください。
【理由】本製品は不整地での設置に特化しておりますが、傾斜や崩れやすい地面等、不安定な状態で使用すると、転倒し火傷や火災の危険があります。

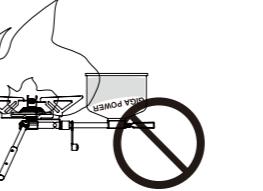


器具そのものが傾斜している。 砂や崩れやすい砂利など地面が安定していない。



●容器は正立した状態で使用してください。

【理由】横にしたり、倒立した状態で使用すると液状のガスが勢いよく噴射して異常に大きな炎が出て、火災の原因となります。容器の置き場には充分注意してください。



●爆発等の危険がありますのでガスカートリッジは完全に使い終わってから他のゴミと区分して捨ててください。また、長時間本製品を使わないときはガスカートリッジを取出してください。本製品は付属の収納ケースに入れ、ガスカートリッジにはキャップを取付けて保管してください。

【理由】ガス漏れが発生し、引火や火災あるいは異常燃焼を起こすことがあります。



●空のガスカートリッジでも火の中に投じたり他の熱源のそばに置かないでください。

【理由】空になったガスカートリッジでも、微量のガスが残っています。火の中に投じたり他の熱源のそばに置くと内圧が上昇し爆発することがあります。



●本製品で炭の火起しは絶対にしないでください。

【理由】本製品やガスカートリッジが異常加熱し、ガスカートリッジの内圧が急激に上昇し、爆発の危険があります。



●使用中は本体のそばから離れたり、目を離さないでください。

【理由】不測の事態を防止するためです。



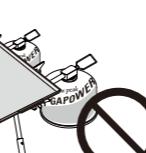
●点火の際は、バーナーヘッドの上部に手や体を近づけたり、バーナーヘッドを覗き込まないでください。

【理由】大きな炎が上がり火傷の危険があります。



●一つの調理器具に複数の燃焼器具を並べて使わないでください。

【理由】大きな鍋や鉄板などで複数の燃焼器具を使用するとお互いの炎でガスカートリッジが異常加熱し、ガスカートリッジの内圧が急激に上昇し、爆発の危険があります。



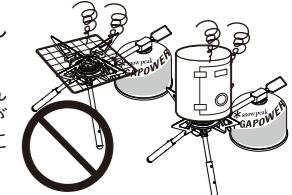
●風防や天ぷらガード、石などで本製品を囲まないでください。

【理由】風防や天ぷらガード、石などで囲むと容器が異常に熱を吸収してしまいます。その上にナベなどをのせるとフタをしてしまう形になり異常に温度が上昇して爆発の危険がありますので絶対にしないでください。



●ヒーターや焚火など、他の熱源があるところでは使用しないでください。

【理由】他の熱源によりガスカートリッジが異常加熱し、ガスカートリッジの内圧が急激に上昇し爆発の危険があります。



●火がついたまま傾けたり振ったり、持ち運ばないでください。

【理由】風等で炎が流れたり、炎が急に大きくなるなどして火傷を負う危険があります。



●お子様の手の届かないところに保管してください。

【理由】お子様に危険が及ばないように、本製品やガスカートリッジはお子様の手の届かないところに保管してください。



●落下やその他の衝撃を与えないでください。

【理由】変形や破損による不具合が発生する事があります。



注意

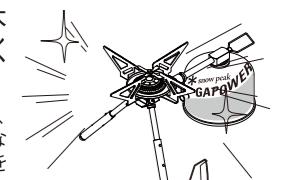
●ガスカートリッジはご使用前は必ず点検してください。

【理由】又ガスカートリッジは保管中も時々点検してください。ガスが封入されているため、外観のキズヘコミ、サビなどが発生しているとガス漏れなどの危険がありますので使わないでください。



●使用後は点検・清掃をして、本製品をケースに入れ保管してください。

【理由】本製品に付着した水分やホコリ、ゴミが目詰まりやサビを起こし故障の原因となります。次回問題が出ない様に点検・清掃をしてください。



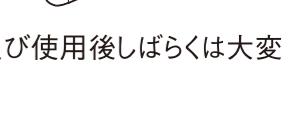
●ガスカートリッジは航空機に持ち込めません。

【理由】法律により、カートリッジを航空機に持ち込むことはできません。

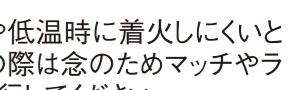


●本体及び各部分は、使用中及び使用後しばらくは大変熱くなります。

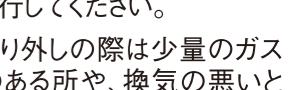
【理由】火傷等に注意してご使用ください。



●イグナイタ(点火装置)は高所や低温時に着火しにくいときがあります。山行やキャンプの際は念のためマッチやライター(電子式でないもの)を携行してください。



●ガスカートリッジの取り付け、取り外しの際は少量のガスが漏れる事があります。火気のある所や、換気の悪いところではガスカートリッジの着脱をしないでください。



●無理にガスカートリッジを取り付けたり取り外したりすると、接続部分が破損します。

